八高の「主体的・対話的・深い学び」

青森県立八戸高等学校

綱　　領
学校目標
八 高 魂・文武両道

めざす生徒像

変化の激しい社会において国際的視野を持って社会の発展に寄与できる人材の育成

- ○「高い志」
- ○「切り拓く力」
- ○「自ら考え行動する力」
- ○「協働して探究する力」

【カリキュラム・マネジメント】

ー社会との連携・協力ー　*"On The Job Trainig Now"*

- **○ 学校目標を踏まえた教科等横断的な視点で、教育活動を改善する**
- **○ 生徒の姿や地域の現状等を考慮し、教育課程を編成し改善する**
- **○ 教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を効果的に組み合わせる**

「何を学ぶか」
〈学力の3要素〉

○知識・技能の習得

○未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成

○学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養

「どのように学ぶか」
〈生徒の活動〉

【深い学び】
○学習のプロセスの中で、問題発見・課題解決を念頭に、深い学びの過程を実現

【対話的な学び】
○級友との協働を通じて、自らの考えを深め、対話的な学びの過程を実現

【主体的な学び】
○見通しをもって取組、自らの学習活動を振り返り、次に繋げる主体的な学びの過程を実現

「何ができるようになるか」
〈育成すべき資質・能力を踏まえた評価〉

【パフォーマンス評価】
○知識やスキルを使いこなすことを求める評価

【ポートフォリオ評価】
○学習の過程や成果を示す記録等を評価

【評価のデザイン】
○Validity: Reliability : Practicality : Backwash
「妥当性」「信頼性」「実用性」「波及効果」

授　　業

○学習する単元・教材によって何ができるようになるかを明確化する

○学習した知識・技能が今後の学習活動や社会生活でどのように活かされるのかを考えさせる

○生徒と教師、生徒と生徒が双方向に学習する授業を、他者との対話などを通して、知見を広めたり、深めたりさせる

○知識・技能をキャリア形成と結びつけ、学びの意義を実感し、未知の問題にも粘り強く取り組む姿勢を育てる

○学習を通してより高い次元の学びに向かう力を培う

○生徒が納得できる評価に努める

マイタイム
（総合的な学習の時間）

○第1学年
課題解決に取組み、表現力を養い、協働的に取り組む態度を育てる

○第2学年
問題解決に向けて創造的・協働的に取り組む態度を育て、学びを人生や社会に活かそうとする人間性を涵養する

○第3学年
持続可能な社会の形成に参画するための自己の生き方や在り方について考えさせる

学校行事

○マラソン大会

○八高祭

○地域巡検

○同窓生による文化講演会

○海外語学研修（約10日間）

等